

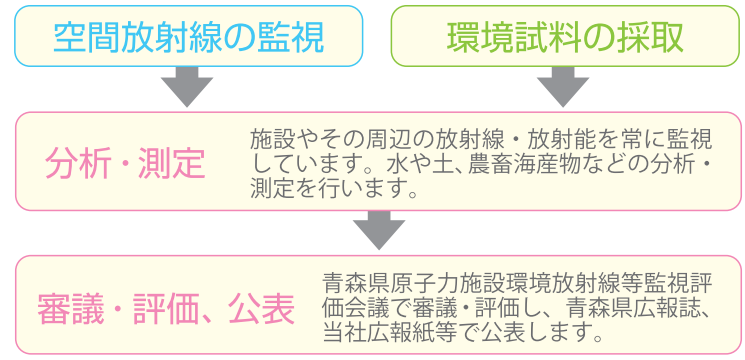
ホームページでも放射線の基礎知識などを紹介しています。「日本原燃広報誌」で検索するか、右のQRコードを読み込んで下さい。



原子燃料サイクル施設の周辺環境における放射線の状況を把握するため、青森県および当社では、モニタリングステーション等による空間放射線量率の監視を継続的に行うとともに、さまざまな試料を採取し、分析・測定を行っています。

平成27年7月から平成27年9月の結果は、放射線の専門家や地元自治体・農漁協など各種団体の関係者等で構成される「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議（評価委員会：平成28年2月3日開催、監視委員会：平成28年2月23日開催）」において審議され、「概ねこれまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった」と評価・確認されました。

一部の環境試料において、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の測定値の範囲を上回ったものがありました。が、周辺地域の皆様の健康と安全に影響を与えるレベルではありません。

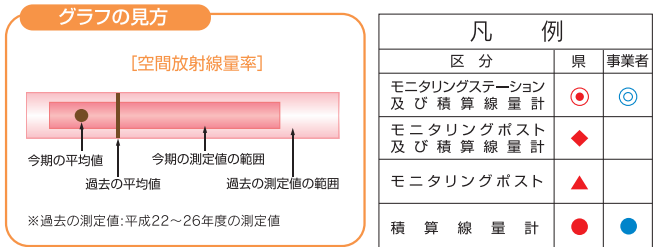
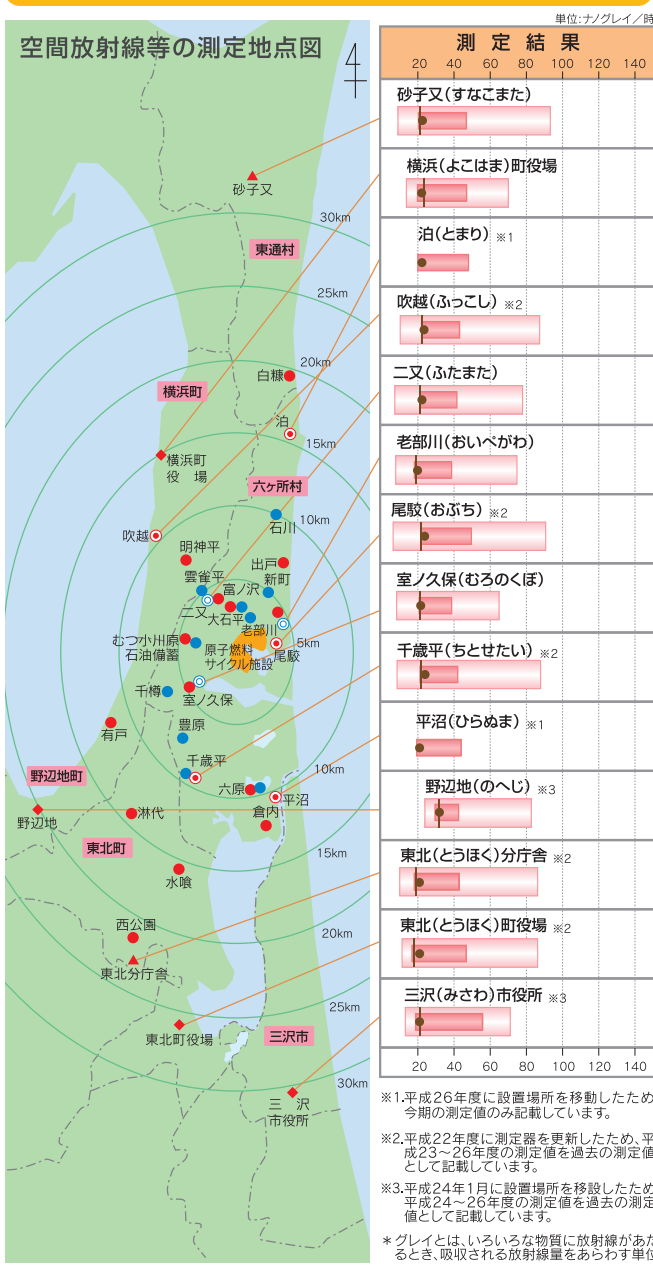


environmental samples are being collected

青森県と当社は、放射能をモニタリングするため、それぞれ、地元の方のご協力をいただきながら、環境試料を採取しています。写真は、2015年10月に実施した六ヶ所村にある尾駱沼での湖沼水採取の様子です。水の上は寒くて辛い時もありますが、防寒着を重ね着し、モニタリングのために、しっかりと作業に取り組んでいます。

平成27年7月から平成27年9月の六ヶ所原子燃料サイクル施設周辺における環境放射線等の評価結果は「概ねこれまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった」と評価されました。

空間放射線等のモニタリング結果



環境試料中の放射能のモニタリング結果

